

特定非営利活動法人 あおーら

2023年度事業報告（2023年4月1日～2024年3月31日）

1. ポストコロナ

新型コロナウイルスの今年度の感染者は3名だった。感染拡大に留意しつつ徐々に従前の活動を再開し、全従業員を対象にした事業所連絡会や研修会、クリスマス会や「あおーら旅行」も開催することができた。

2. 事業再編の効果

就労継続支援事業所「すみれ」は、就労を通して地域で活躍できる場を広げることが目的で、利用者は各々のペースに合わせて作業に当たっている。「Shop すみれ」を開設するなど、地域や近隣住民との協働・交流を深めている。

「あおーら飯能」「あおーら日高」を合わせた就職者数は、前年度の2名から4名になった。

3. 飯能市障害者就労支援センターの強化

今年度から就労支援員3名の体制になった。これにより、支援が途切れていた方の現況確認を行うなど、より登録者に寄り添った支援を行うことができた。幕張式ワークサンプルの担当者も2名体制にすることができた。

4. チーム支援の充実

事業所間はもとより関係機関も含めて情報を共有し、チームとして支援することに心がけた。地域活動支援センター「希望」では、福祉サービスに繋がっていない方に対して、医療・福祉・当事者等の関係機関がチームを組んで訪問支援に当たる、飯能市多機関多職種連携による訪問型生活支援試行業務を新たに受託した。

5. 地域移行の取り組み

障害者が地域社会の一員として安心して生活できる環境を整えていくため、当事者団体「みなくる倶楽部」、行政、すこやか福祉相談センター、病院等の関係機関と連携した支援に取り組んだ。

相談支援体制の強化については、10月に日高市に新たに「相談支援事業所P i t」を開設した。

6. 啓発活動

精神保健福祉部会が、埼玉県発達障害者支援センターまほろば、飯能市手をつなぐ育成会、埼玉県障害者雇用総合サポートセンター、就労支援部会の協力を得て開催した家族支援事業の研修会について法人として共催した。精神保健福祉フォーラムについては、精神保健福祉部会、みなくる倶楽部と法人の共催で開催した。

7. みなくる倶楽部との協同

飯能市障害者支援協議会、毎週土曜日のフリースペース、常盤高校講演、市民・医療機関への啓発活動、ピアサポーター育成などに当事者団体「みなくる倶楽部」と共に取り組んだ。

8. 家族会との協同

毎週水曜日の家族相談会に代表理事が参加し、家族会との連携を強化すると共に、家族会と一緒に相談者への対応に当たった。